

飛越地域の特産品 ～南砺市～



じょうはなぎぬ
城端絹

約 430 年前から城端にて生産が始まり、上質の絹織物へと仕上げられました。時代とともに、紹や紗、羽二重など多種多様な絹織物を生産しています。



かぶら寿し

白かぶに寒ブリや塩サバを挟み、麴で漬け込み発酵させたかぶら寿し。昔はこの家でも手作りされていた発酵食品の代表格です。



木製バット

大正末期より高い木工技術を活かしたバットの生産が始まり、木製バット生産日本一のシェアを誇ります。質の良さから多くのプロ野球選手に使用されています。



五箇山豆腐

富山の大豆と五箇山の澄んだ水を使い、伝統の製法で作られます。縄で縛っても崩れない堅さは、大豆の旨みが凝縮されている証拠。ずっしりと食べ応えがあります。



富山干柿

南砺市特産の「三社柿」で作られる干柿で、柿の皮をむき、ゆっくり乾燥させます。柔らかい果肉と豊かな甘みが楽しめ、ご進物やお茶請けとして最適です。



菊

南砺市では菊づくりが盛んで、電照菊では、北陸随一を誇っています。11 月には南砺菊まつりが開催されます。